

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回戸田市外部評価委員会 (施策17 防犯体制の強化)
開催日時	令和7年7月31日(木) 15時00分 ～ 16時25分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 悴田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	市民生活部 野崎次長 くらし安心課 青山課長 中村主幹
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 藤田主任
議 題	1 外部評価委員紹介 2 担当部局紹介 3 外部評価ヒアリング
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	1 次第及びタイムテーブル 2 施策評価シート及び事務事業評価シート 3 ロジック・モデルシート 4 事前質問及び回答

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
担当部局 委員 担当部局 委員 担当部局	1 開 会 2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。 3 担当部局紹介 評価対象施策担当部局の紹介を行った。 4 外部評価ヒアリング ○施策の概要 概要説明を行った。 ○事務事業の妥当性、施策指標の妥当性 防犯カメラのリプレイスについて、複数年かけてリプレイスすることも方法の1つであるが、約400台を1年間で一度に行う理由を教えてください。 詳細は調整中だが、現状は1年間で予定している。理由は耐用年数を過ぎているカメラも多く、早急な入替が必要であるためである。また、町会から移管された約100台はスタンドアローンカメラであり、現地に行かないと映像を確認できず、警察からの要請による映像の確認の回数が増加傾向にある中で、ネットワークカメラに比べて効率性が低いことも理由である。 今年度から実施している防犯設備の購入設置に対する補助を行う「戸田市住まいの防犯対策補助事業」について、現在の状況を教えてください。また、設置された設備の把握、活用のビジョンなどがあれば教えてください。 令和7年7月22日に受付を開始し、現在までに約100件の申請があった。特に防犯カメラの申請が多く、設置した人の情報は市で把握している。活用方法としては、事件が発生した場合に防犯カメラの記録は重要であるので、警察への情報提供が考えられるが、個人情報保護の観点から慎重な判断

	が必要であり、活用方法については現在検討中である。
委員	防犯設備の設置について、警察から補助は出ないのか？
担当部局	警察では予算がつきにくい状況と聞いており、自治体で対応している状況である。
委員	施策指標「防犯対策が充実していると感じている割合」について、“どちらともいえない”と回答した割合も含めた方がよいのではないか。あるいは、“満足”、“普通”、“不満”の３段階評価にして、“満足”と“普通”の合計値にするのはいかがか。
事務局	本指標に係る市民意識調査の設問は、様々な分野の満足度を尋ねる設問の項目の１つであり、選択肢の変更については、他の分野や継続的な観測の面で影響が生じる可能性がある。指標の捉え方については、戸田市第５次総合振興計画の後期計画を現在策定中のため、見直しを検討したい。
委員	防犯パトロール等、防犯対策に関する具体的な指標を設定した方がよいのではないか。
担当部局	担当としても問題意識を持っており、アウトプットやアウトカムを意識して、戸田市第５期総合振興計画の後期計画を策定する中で、見直しを検討したい。
委員	青色防犯パトロール実施者は、不審者や騒いでいる人を見かけた際に注意する権限があるのか。
担当部局	警察官であれば法的に権限がある。ただ、実際にパトロールする人に警察官のような権限はないが、常識に照らして注意が必要な行為が確認できれば、注意をしたり話を聞いたりすることは、法を犯すものではないと考える。
委員	防犯灯の定義を教えてください。

担当部局	照明灯は道路照明灯、商店街の照明、防犯灯の３種類ある。防犯灯は、道路照明灯及び商店街の照明があつたとしても、暗くて危険な箇所に設置している。市内には１，８００基を超える防犯灯が設置されており、市民から要望があれば、調査した上で、設置を検討する。
委員	防犯灯を設置する費用の負担者は誰か。
担当部局	市道に設置する場合は市が負担する。
委員	施策の目的「市民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域と連携した防犯対策を推進するとともに、防犯体制の強化を図ります。」について、“市民の誰も”の範囲を聞きたい。こどもや、日本語が話せない住民も含めているのか。
担当部局	そのとおりである。
委員	市民意識調査において、防犯対策が充実していると感じているか否かを問うているが、充実している状態が共有されていないと判断ができないのではないか。市民意識調査では充実している状態に関して定義や例示は示しているのか、また、具体的にどのような状態を想定しているのか。 戸田市の防犯対策を認知していない場合は、そもそも回答が難しいのではないか。
担当部局	個々人の体感や主観で、戸田市は防犯対策が充実していると感じれば当てはまることになる。定義等は特に示していない。
委員	防ぐ対象の犯罪として、当て逃げやひき逃げも含まれるのか。
担当部局	含まれる。
委員長	他の自治体においても、定義等は示さず端的に「防犯対策は充実している

	か」と問うケースが多いと思われる。回答者が防犯対策について認知していない場合、選択肢に「分からない」とか「どちらでもない」が無ければ、充実しているか否かで答えざるを得ず実績値が真実から離れる可能性があるが、その点はどうか。
担当部局	選択肢として「どちらともいえない」を設定している。
委員長	「どちらともいえない」と回答する人の比率は高いので、それを踏まえた上でこの指標が適切かどうか判断をする必要があると考える。
委員	防犯対策が充実していると感じているか否かは、防犯カメラの設置が認知されれば数値が上がる気がするので、指標としてはこのまま残してもよいと思う。
委員	防犯対策事業及び犯罪抑止事業について、青色防犯パトロールの実施頻度を教えてほしい。
担当部局	警察官OBの車両が2台あり、週4回、午前9時から午後5時まで実施している。委託警備員の車両も2台あり、日中と夜中に実施している。また、週に1回、市職員もパトロールを実施している。
委員	街中で青色防犯パトロールを目にすることはあるが、防犯のイメージが湧きにくい。もう少し犯罪抑止効果を高めるために、車両の色彩の変更等、一目で分かるような形にすればよいと思う。また、音声についても明瞭で効果的な内容にすべきではないか。
担当部局	車両は仕様が決まっているため、変更が難しい。警察OBの車両は軽貨物であり、白黒ではないので、パトロールをしていることが伝わるよう、大きなマグネットシートを貼る等工夫したい。スピーカーの音量については、大きすぎると近隣住民の生活を妨げる可能性もあり音量を抑えているところもあるのだが、公益性がある業務であるので、音量の調整を検討したい。

委員	地域安全ステーションの雰囲気は、パツとしない感じがあり、パトロールをしているのだと思うが、担当者が不在の場合も多い。地域安全ステーションであることが外観からも目立つような形にしても良いと思う。
担当部局	デジタルサイネージの設置等、費用対効果を考えながら検討したい。
委員	パトロール中に交通違反者やごみの持ち去りなどを発見した場合に、どういった対応をしているのか。
担当部局	警察のような権限は無いが、違反者に対し注意等を行う。ただし、トラブルになったとしても、警察のようにすぐ応援を呼べるような体制でもない。したがって、状況に応じて、業務の範囲内で可能なことを実施することになる。
委員	防犯の執行権は警察が有しており、市は執行権がないので、市ができることは広報しかないと思う。犯罪発生後、その犯罪の種類や周囲への影響、どのような形で対処し、解決したかを警察と協力し市民にアナウンスすることが大切である。解決したことを周知することで、対策の方法が共有されると同時に、安心感が増し、犯罪者に対する抑止効果も働くと考える。
担当部局	広報は重要だと認識している。市では、警察から情報を受けLINEや防災無線で周知を行っている。また、警察では予算の関係で補助金事業などを実施することは困難であると聞いており、市の役割は大きいと認識している。
委員	犯罪者を現行犯で私人逮捕したりしようとしてけがを負った場合、業務上災害に当たらないのではないかな。
担当部局	市が任用している場合は労災に該当する余地がある。一般の方の場合はそのとおりである。先ほど申し上げたとおり警察のような権限や応援体制もなく、危険が伴うものなので、どこまで対応すべきか考えないといけない。

委員	警察以外のパトロールに際してはそういった面からもリスクがあるので積極的に行うべきではないと考えている。市の防犯体制としては広報が一番と考える。
委員	犯罪捜査のノウハウを有していない市の判断で防犯カメラを設置しても意味がないのではないかな。
担当部局	防犯カメラの設置については、市民からの要望で設置するケースも多い。市ではできないが警察ではできることがある一方で、防犯設備に対する補助など、警察ではできないが市ではできることもある。供述に頼らない捜査が重視されている中で、防犯カメラの映像は非常に重要である。警察ではこれだけの規模の防犯カメラを設置することは困難であると認識しており、市が整備していることで、犯罪の早期解決に大いに役立っていると考えている。 ○資源の方向性、その他
委員	人員の方向性について、令和８年度以降「維持」となっているが、説明欄には「人員の増が必要である」との記載がある点について、確認したい。
担当部局	人員の方向性も、今後増加する見込みである。
委員	防犯に関するカテゴリは、こどもや女性等、色々あるが、こどもに対するアプローチはどのように行っているか。
担当部局	見守り防犯カメラは通学路を中心に設置しており、設置場所は学校運営協議会と調整している。また、見守り防犯カメラの中にビーコン検知機を備えており、防犯タグ（見守り端末）を携帯した子どもが見守り防犯カメラ付近や小学校校門付近を通過すると、保護者に通知が届く仕組みになっている。また、市職員による青色防犯パトロールは、小学生の下校時間帯に実施している。
委員	防犯タグ（見守り端末）の予算はこの施策の範囲内か？

担当部局	この施策の事業ではあるが、防犯タグ（見守り端末）は協定を締結している株式会社ミマモルメが無償で配っている。月額使用料500円のみ保護者負担としており、市の負担は防犯カメラの維持管理のみである。
委員	教育関連で、性被害や学校内暴力等、こどもが犯罪に巻き込まれないための技術や対応力を身に付ける取組は、教育委員会の所掌になるのか。
担当部局	そのとおりである。教育委員会から警察に依頼をし、警察が防犯教室等の事業を実施している。
委員	本施策において、そのような事業は関連付けされているのか。
担当部局	直接成果の「児童の安全が確保され、保護者の安心感が増す」と関連はあるが、現時点では本施策において、教育委員会が行っている事業を含んでいない。
委員	見守り防犯カメラについて、保護者が負担する月額使用料500円に、保守料も含まれているのか。
担当部局	見守り防犯カメラの維持管理会社とビーコン受信機の会社は別であり、保護者は見守り端末の使用料として月額500円のみ負担する。保守料は市が負担しており、令和8年度が前年度よりも増加傾向にある点は、保守料の増額やリプレースの検討費用も含んでいるためである。
委員	施策評価シートにおいて、dip株式会社との公民連携事業が記載されているが、具体的な内容を教えてほしい。
担当部局	dip株式会社が作成した闇バイト判別クイズを、市ホームページに掲載している。クイズは、高校生でも回答に迷うようなレベル感である。現在、dip株式会社が市内の高等学校2校に出張授業を行っており、市も参画を模索している。また、闇バイトの危険性を知らせるチラシの配布も検討している。

委員	予算の方向性について、令和８年度及び令和９年度と増加傾向にあるが、防犯カメラのリプレイスによるものか。
担当部局	そのとおりである。
委員	ドライブレコーダーをもっと活用すべきではないか。例えば、事件が発生した際、その時間帯に現場周辺を走行した車の所有者に対して、映像の提供を依頼するのはどうか。費用面でも低減できると思う。
担当部局	そのような取組は、警察で既に実施している。車両の活用という点では、郵便局の車両にビーコンの検知器を付けて、児童が近くを通ると反応するような実施しているケースもある。
委員	埼玉県は民間パトロール団体数が全国で最も多いと聞いている。戸田市は埼玉県の中でどのくらいの位置にいるのか。
担当部局	ランキングは把握していないが、戸田市では令和６年度に６９９回、延べ４，０００人を超える人が町会パトロールを実施した。南原町会防犯パトロール隊は、安全・安心なまちづくり関係功労者として平成２１年に内閣総理大臣賞を受賞している。
委員長	ロジック・モデルシート上で、中間成果として「刑法犯認知件数が減少する」とあり、そこから施策指標「犯罪発生率」にロジックがつながっている。しかし、これらは中間成果と最終成果の因果関係にあるものではなく、全体と一部の関係性ではないか。
担当部局	そのとおりである。ロジックについて見直していきたい。
委員長	施策指標「犯罪発生率」の指標説明について、「市内の人口千人あたりの年間犯罪発生率」と指標説明が記載されているが、正しくは「市内の人口千人あたりの年間犯罪件数」ではないか。

担当部局	そのとおりである。戸田市総合振興計画の後期計画策定時に修正する。 5 閉 会
------	--